

第34回 コープこうべ 第九コンサート

～輝きのハーモニー ひとつになる感動～

2026年 **12月20日(日)**

14:15 開場 / 15:00 開演

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【指 揮】高谷 光信

【独 唱】ソプラノ 田中 希美 アルト 馬場 菜穂子
 テノール 清水 徹太郎 バリトン 大谷 圭介.

【管弦楽】メテオール オーケストラ

【合 唱】コープこうべ第九合唱団

曲目

小交響曲 ～キャロル・オブ・ザ・ベルの主題による～

／ウクライナ民謡(首藤健太郎 編曲)

クリスマス・フェスティバル／L.アンダーソン

交響曲第9番「合唱付き」／L.V.ベートーヴェン

チケット料金 全席指定
一般……………A席 2,500円、B席 2,000円
 C席 1,800円、D席 1,000円
小中高生…………全席1,000円

販売方法 窓口・電話予約・インターネット予約(要会員登録・無料)
販売開始: 2026年10月1日(木)午前10時～

販売場所 「芸術文化センターチケットオフィス」のみのお取り扱いになります

TEL.0798-68-0255

10:00～17:00、月曜休み(祝日の場合は翌日)
<https://www1.gcenter-hyogo.jp/>



指揮者・ソリスト以外へのプレゼントや花束はご遠慮願います。
当公演は、就学前のお子様の入場はできません。
上演中は、お子様をお預かりします。
(3才～就学前・800円・定員あり)

■後援: 兵庫県・神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市・尼崎市・
(公財) 兵庫県芸術文化協会・(公財) 神戸市民文化振興財団・
神戸新聞社・ラジオ関西・兵庫県ユニセフ協会・
(公財) コープともしびボランティア振興財団・
(一社) 日本ウクライナ音楽協会

■お問い合わせ、一時保育・車椅子席申し込み:
コープこうべ地域活動推進部「第九」係
TEL: 078-856-1105 (火～金 10時～16時)



Conductor
高谷 光信

東京混声合唱団 指揮者(2019年4月～) ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者(2012年4月～) 一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会 理事長(2022年2月～) 四條畷市市民総合センター NMP 芸術監督(2022年10月～) JLRークスシンガーズ 音楽監督(2019年～) ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏家資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V.プラソロフ、故E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。2003年ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に登壇しプロデビューを果たす。首席客演指揮者(2003～2006年) 第2指揮者(2006～2012年) 常任指揮者(2012年～) に就任。『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キウ夏の音楽の夕べ』『ウクライナ国際バルトケーヴィツ音楽祭』に出演。2010年より『ウクライナ国際指揮マスタークラス』の講師・審査員を務める。現在までに東京混声合唱団、神戸市混声合唱団、ウクライナ国立合唱団ドゥムカ、ウクライナ・チェルニーヒウ州立ポルトニャンスキー室内合唱団、ウクライナ・リヴィウ国立フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団、ムジカフィルハーモニー管弦楽団、大阪チェンバーオーケストラ、神戸市室内合奏団などを指揮。《題名のない音楽会》(テレビ朝日・Osaka Shion Wind Orchestra 2014年11月23日放送)《かんさい熱視線》(NHK大阪・戦地から奏でる“希望のムジカ”ウクライナと日本の音楽家たち 2022年9月2日放送)《クラシック音楽館》《クラシック倶楽部》など、多数のTV番組に出演。2017年より故フジコ・ヘミングと共演を重ねる。東京混声合唱団においては2008年の初登壇より約100回の共演を数える。関西大学客員教授。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部音楽領域、武庫川女子大学音楽学部、各講師。

第16回京都芸術祭京都市長賞受賞(2002年京都) チェルニーヒウ州文化功労賞受賞(2012年7月ウクライナ) チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状受彰(2019年7月ウクライナ)



Soprano
田中 希美

相愛大学声楽専攻卒業、同大学研究生修了。軽く澄んだ声質とコロラトゥーラの確かなテクニックを活かし、オペラや宗教曲 合唱曲に於いてバロックから現代物まで幅広いレパートリーをこなす。特に『魔笛』夜の女王役に於いては、ドイツケムニッツ、堺シテリオペラ、加古川市民オペラ、相愛大学他など国内外で数多く演唱してきたことは特筆される。ヴォイストレーナーや合唱指導者として厚い信頼を得ており、様々なオペラやコンサートを手掛けるなど、新たな舞台づくりにも積極的に取り組んでいる。コープこうべ第九合唱団の合唱指導は22年にわたり、繋がりは深い。関西歌曲研究会 ソワレの会会員。女声合唱団An die Musik指導者。The TARO Singers ソプラノパートリーダー。Forza e Coraggio主宰。



Tenor
清水 徹太郎

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞、京都府芸術奨励賞、藤堂音楽賞他多数受賞。これまで国内外60演目以上のオペラに主要役で出演を果たし高評価を得たほか、C.エッセンバッハ指揮『千人の交響曲』、チョン・ミョンフン指揮『第九』、A.ゼッダ指揮『スターパトマーテル』等、室内楽曲ソリストとしても多数出演を果たし、高評価を得る。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。兵庫県音楽活動推進会議員。京都市立芸術大学、滋賀大学、武蔵野音楽大学各講師。



Alto
馬場 菜穂子

大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学大学院課程(Postgraduate)オペラ科修了。ヴェルディ『椿姫』フローラ役、ドニゼッティ『ピア・デ・トロメイ』ロドリゴ役、R.シュトラウス『薔薇の騎士』オクタヴィアン役、ビゼー『カルメン』メルセデス役、M.ヴァインベルク『LADY MAGNESIA』フィリス役、ワーグナー『ワルキューレ』ジークルネ役(バイエルン州立コーブルク劇場)、マスネ『サンドリヨン』精霊役(NISSAYオペラ2025)、プッチーニ『修道女アンジェリカ』修道女長/托鉢係修道女役など多数の作品に出演。2014年に渡欧しオーストリアのザルツブルクを中心にソロから合唱まで幅広く活動。2022年から拠点をドイツに移しバイエルン州立コーブルク劇場オペラ合唱団員を務めた後、2023年7月に日本へ完全帰国。これまでに阪哲朗、広上淳一、パブロ・エスカンデ、柴田真都、ケン・シェ、D.Carter各氏と共演。日本シューベルト協会会員。関西二期会準会員。同志社女子大学学芸学部音楽学科嘱託講師。



Baritone
大谷 圭介

photo by 佐伯亜由美

京都教育大学数学科卒業。京都市立芸術大学大学院声楽専攻及び博士(後期)課程修了。博士号取得。近年では『こうもり』『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『リゴレット』等に立て続けに主要な役で出演。2018年シーズンにはイタリアのリヴォルノ、ピザ、ルッカの各歌劇場の招聘を受け、マスカーニ作曲オペラ『イリス』にキョウト役で出演した。50以上の役柄で出演し、明るくノブールな声質と豊かな声量、的確なディクショントと演唱で観客を魅了し続けている。『第九』はもとより、ソリサイタル・各種コンサート、大阪フィル、大阪交響楽団など関西の主要オケとの共演なども行い、幅広く演奏活動を行っている。合唱指導経験も豊富で、対象年齢や楽曲のジャンルを問わずの確かな指導力には定評がある。児童合唱指導にも情熱を注ぎ、小澤征爾音楽塾でのオペラ『カルメン』『子供と魔法』『ジャンニ・スキッキ』『ラ・ボエーム』等でその指導力は高く評価されている。滋賀大学教育学部非常勤講師。関西二期会理事。

メテオール オーケストラ



メテオールオーケストラ(The Meteor Orchestra)は、一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会が主催するアマチュアオーケストラです。当オーケストラは、ウクライナの作品やスラヴ圏の音楽を中心に演奏することで、その魅力を広く伝えることを目的とし、将来的には日本とウクライナの文化交流を促進する演奏会の開催を目指しています。また、これらの趣旨に賛同したメンバーが、演奏会ごとに集うというスタイルを採用しています。今回の演奏会には音楽を通じたウクライナ支援も含まれており、平和の願いを込めて演奏します。「メテオール」とは“流星”を意味するウクライナ語「Метеор」であり、輝かしい未来への想いが込められています。

コープこうべ 第九合唱団



コープこうべ第九合唱団は、一度は第九を歌ってみたいという熱い思いを持つ組合員仲間が集まり、1993年に神戸文化ホールで第1回目のコンサートを開催したのが始まりです。第九への情熱はその後途切れることなく、1995年の阪神・淡路大震災を乗り越え、2006年からは、震災復興のシンボルとして設立された兵庫県立芸術文化センターより、歓喜の歌を届けてきました。2020年はコロナ禍により公演中止を余儀なくされましたが、2021年からコンサートを再開し、今年で34回目を迎えます。毎年団員を募集し、新しい仲間と共に、「みんなで作る みんなの第九」を合言葉に、自主運営に励んでいます。また、第九のみならず『ふるさとの四季』『カルメン』などの幅広い楽曲に取り組んできた経験を糧に「いつまでも持続可能な合唱団」を目指し、歌い続けます。



**2027年度
合唱団員募集**

2027年5月末頃に団員募集を行います。募集時期になりましたら、コープこうべ第九合唱団ホームページ、コープこうべ情報誌『きょうどう』、コープこうべホームページ等でご案内します。来年はぜひ私たちと一緒に歌いましょう♪